

2025年5月13日

株式会社小田急箱根

2026年3月（予定）

小田原駅～箱根湯本駅間の普通旅客列車におけるワンマン運転実施について ～ 今後の生産年齢人口の減少を踏まえて持続可能な鉄道事業の実現を目指します ～

株式会社小田急箱根（本社：神奈川県小田原市、社長：水上 秀博）は、小田原駅～箱根湯本駅間の普通旅客列車（4両編成）において、2026年3月よりワンマン運転を実施します。

ワンマン運転対応車両にはハードウェア対策として、車両の側面に「車両側方カメラ」、運転席に「側方カメラモニター」、「ドア開閉スイッチ」を設置します。加えて、車内防犯設備として「車内防犯カメラ」を設置します。

「車両側方カメラ」は1両につき片側2台、計4台設置し、車両側面とホームの様子を撮影します。その映像が運転席のモニター画面に表示され、運転士は車両側面の状況を確認してスイッチでドアの開閉を行い、列車を発車させます。運転士が誤ってホームの無い側の扉を開ける操作を行っても、誤開扉防止装置によって扉は開きません。これにより、ワンマン運転時においても車掌が乗務する列車と同等の安全性が担保できます。

また、列車内で非常事態が発生し、お客さまが非常通話装置（SOS ボタン）を押した際には、運転士に直接つながり会話ができます。状況を伺った上で、速やかに必要な手配を行います。

今後、生産年齢人口の減少に伴い、乗務員の確保が難しくなることが予測されており、列車本数を維持するためにワンマン運転の実施を決定いたしました。当社は持続可能な鉄道事業の実現を目指してまいります。

記

1. 実施日 2026年3月より
※2025年11月より乗務員に対して習熟運転を実施します
※ワンマン運転の開始日については別途お知らせいたします
2. 対象区間 小田原～箱根湯本間（6.1km）
3. 対象列車 普通旅客列車（4両編成） ※特急列車を除く
4. 安全対策
(1) 「車両側方カメラ」を設置
※2025年2月から検証を行い、夜間や悪天候などの低照度下でも十分な視認性を確保でき、明暗差がある環境下でも鮮明に映すことを確認しています

(2) 「車内防犯カメラ」を設置
※2025年中に全車両に設置いたします

安全のための装置については次ページをご覧ください
5. お問い合わせ 株式会社小田急箱根 鉄道部
TEL. 0465 - 32 - 6823（平日9：00～17：00）

安全のための装置について

【車両側方カメラ】



車両側方カメラの撮影範囲



【車内防犯カメラ】



以 上